

令和7年度第3回 太田市1%まちづくり会議 議事概要

会議の名称	令和7年度第3回1%まちづくり会議
開催日時	令和7年5月29日(木) 18:00~20:30
開催場所	太田市役所 5階 5A 会議室
出席委員 (代表氏名)	1%まちづくり会議 佐藤 広大 委員長 他14名

1. 開会

2. 挨拶

佐藤委員長より挨拶

3. 協議事項

(1) 3次募集審査について(申請10件 No.115~124)

No.115 三菱電機群馬ボランティア会の環境整備(三菱電機群馬ボランティア会)

委員:三菱電機のボランティア団体の作業は素晴らしいと以前から思っている。ぜひ賛同したい。

委員長より採決が諮られ、【採択】と決定した。

No.116 泉町環境美化事業(泉町)

委員:宝南センターと木崎駅前花壇、これは場所が全然違うので別々の申請じゃないかと。内容自体も違う。駅前是非常に素晴らしく綺麗な花壇。宝南センターは15年くらい前に、旧の宝南小学校が新しく場所を変えて新築されて、そこを宝南センターにということで、サッカーグラウンドができるような広い面積。これを地元の住民が芝刈機3台で、定期的にタイヤを交換したりとか、いろんな形で維持管理している。今回の申請内容を見ても、軽トラの使用が50回。やる内容が業者に委託したほうがいいんじゃないか。それで、花植えなどを皆さんでするほうがいいんじゃないかと思う。

委員:3年前くらい前にこの会議で現地視察に行った。距離も離れていたし、ちょっとこれは大変な事業だという感触を受けた。その割にあれだけのことを効率的に仕事を分担し、リーダーが先に立ってやっている。こういう姿を見ると、なかなか一概にこれを分離ということまで言うのもどうかと。引き続き頑張っていたきたいというのが私の意見。

委員:グラウンドの利用頻度とか、利用が地域だけか。それともスポーツ少年団とかいろんな方が使われているのか。

委員:数年前から若い方たちがSNSを活用して子供たちも含めて、活動しているシーンを目にすることがあり、されている様子も伺っている。

委員:今、施設はどこが管理してるのかというのが気になった。市有施設だと思う。あそこ

は区画整理の問題やいろいろな問題、課題を抱えてたので、協力しながら、ここまではやってくれるかとかそういうやりとりが行われた地区だと思う。そういうことがあり、そこに会館や体育館を作ったり、地域の人たちに貢献できる施設として使ってもらおうということを双方やって、今に至っている。広い土地だし、やっている人たちもどンドン年を取っているから、容易でなくなってくると思う。管理してるところを調べていただいて、業者でやるようなことならば、地域でやるのは駅前花壇にして、宝南の部分は、行政の方で頼むよと。おそらくこれを始めたときは、行政の方でできない部分を地域のほうでやってくれるよという双方でうまくいった事業で始まったと思うが、地元の意見をもう 1 回確認してもらって、もうあと何年かすると難しいという状況があれば、それは市の当局と相談して、ちゃんと予算を持って、責任を持ってその下で業者委託して対応するなどして、費用と負担を地域にかけないようにしてあげるといいう体制を、できればいいんじゃないかな。ただ、いや、俺たちがやってるんだよと自信を持ってやっているとすれば、それは生きがいだから、それは続けてやったほうがいい。

委員長より採決が諮られ、【採択】と決定した。

No.117 市祇園まつり(市祇園まつり実行委員会)

特に質疑はなく委員長より採決が諮られ、【採択】と決定した。

No.118 2025 おおた夏まつり(北会場)(太田夏まつり実行委員会)

特に質疑はなく委員長より採決が諮られ、【採択】と決定した。

No.119 みんなで作る寿農園(高林寿町町内会)

委員:40 cmの泥を入れる場合、かなり高さがあるので、周りに流れていかないか、ちょっと心配。ただ、やること自体は、この場所はちょっと狭いところだが、有効活用とか、皆さんがやるのにはいいと思う。ただ費用的なものがどうなのかなと。

委員:心配なのは人海戦術でやる点。これ相当しんどいと思う。数日で終わるというのはありえないと思う。

委員:事業計画書の一番下を書いてあるが、参加者の確保。子供と高齢者の参加確保、多分不安に思われると思うが、こちらの高林寿町は広い場所じゃないと思うが、その町内の小学生対象になると参加者がどれぐらいいるのか不安な点。見ていくのは高齢の方だろうから、そういう人がちゃんと確保できるのかなと。私のエリアは旭小で旭農園というものがある。そちらの運営も、高齢の方にやっていただいているが、皆さん高齢で大変な状況の中で、旭小全体で 500 人以上児童いるが、参加する子は 10 数人くらい。だからこの寿町でどれくらいの子供が集まるか。

委員長:今いただいたご意見を事務局から事業者の方にアドバイスを伝えていただけれ

ば。

委員長より採決が諮られ、【採択】と決定した。

No.120 矢太神沼周辺の環境整備(矢太神沼環境整備の会(大根区))

10万円未満のため事務局採択案件で、特に意見は無し。

No.121 宝泉地区美化運動(宝泉地区美化運動委員会)

特に質疑はなく委員長より採決が諮られ、【採択】と決定した。

No.122 植木野区じゃがいもづくり体験事業(植木野区長寿会)

委員:もったいないのがじゃがいもだけというところ。うちの地域は、じゃがいもの作付の後、コスモス畑とか、ひまわりとか、いろいろやっている。それをまた、地域コミュニティの場としてどうかと。

委員:ここに実際に行ってきた。あの量は10kgじゃない。かなり植えている。トラクターが入る間隔でやっている。かなり余裕をもって植えている。いい状態だが、もったいないのは、ジャガイモだけではちょっと寂しいなど。

委員長より採決が諮られ、【採択】と決定した。

No.123 鳥之郷行政センター等環境美化事業(鳥之郷地区区長会)

委員:文化祭の後の清掃だが、私は毛里田で前に区長をやったが、あくまでも文化祭の実行委員が周りも全部含めて清掃していた。文化祭前にある程度綺麗にするのは当然の話で、それを文化祭の後に、1%事業を使ってやるというのはちょっと話が違ふんじゃないかなと思った。

委員:団体の横の連携。1年に1回、団体で掃除してもらうとか、仕組みづくりが必要なのかなと思う。

委員長より採決が諮られ、【採択】と決定した。

No.124 太田市金山城跡等竹林整備事業(竹林整備ボランティア団体金竹連)

委員:発電機は借りたほうがいい。買うとメンテナンスもかかるから、3か月とか半年とかで借りるほうが安い。

委員:ワークショップの収入は、歳出の部材代と相殺されるから入れないよということなんですよね。会計の基準からすると、団体にどこまで求めるかという話なんだろうが。基本そのやり方はないかなと思う。相殺の考え方は基本ない。実際そのワークショップの収

入の代金が歳出でちゃんとマッチするかはまた別の話で、それがちょっとその簿外の会計に、通常に繋がる。今回はいいが何かアドバイスという形でやっていただくとありがたい。

委員：心配になってきたのは、ビジネスへ走って委託をしたり、少しずれてきたなど。竹の切断も委託せず自分たちで頑張っ、できる範囲で活動してやるべきだと思う。また、材料費 300 円は本当なのかなと。原価がわからないが、疑心暗鬼になってしまう。もともとは、素晴らしいアイデアだ。だから、発電機はリースしてくださいと我々のほうからアドバイスして、きちんとした方が。発電機が壊れたらどうするの。

委員：会計報告をしっかりとするのが必要でしょう。

委員：竹林整備ということであれば、竹を伐採したものが多いようだったら、農政に竹を伐採する機械がある。

委員：竹あかりづくりは非常にいいことだと思う。実は私も竹あかりをつくろうとして竹を伐採してやっているが、切断するのも大変。丸山地区でも竹被害があり、農政から粉碎機を借りてみんなやった。そういうのがあるのだから、それを利用して竹を伐採したものを、そういう整備の中で使っていく必要があるのかなと思う。

委員：マダケなのか、モウソウなのか。金山にあるのはおそらくモウソウ。モウソウなら大変。重いし。ドリルも相当使う。滑るし。竹用のドリルだが、壊れますよ。そういうのを使わなきゃだめなんです。

委員：問題は、ワークショップの 300 円の中身。ワークショップをこれだけやるというのは、相当収入があるんじゃないか。収入には書いてないが。そこへ税金を負担するとなると、ちょっと意味合いが違ってくるかなというのが正直なところ。そうするとそのワークショップ自体を省くとか、ちょっと分けないと。

委員：儲けてなるとちょっとまずいと思う。

委員：300 円はこういう費用がかかるので、明確にしてもらって、それを、事業者伝えていただいて、それを修正という形にしないと。

委員：事業を分離してもいい。竹林整備とイベント。

委員：前は竹林整備だけだったから。来年度は分けてもらう。今年はもう進行しているから。

事務局：では、先ほどのワークショップの参加費は、収入に記載していただくということで、実績報告のときにはそういう形で報告をしていただけるようお伝えするのと、あと発電機については、リースを検討していただいて、今回の採択は、その発電機の部分を除いた金額で採択にするのか。そのあたりはいかがか。

委員：ワークショップと分離して申請してもらったほうがいいと思うので、竹林整備でやっていただいて、その竹を切ったものをワークショップで使うよと。ワークショップは別でやりますよという形で。それは、1%事業当初の趣旨に戻して、竹林整備がメインと言ったほうがいいと思う。

委員：今回、発電機はリースにしてもらう。さらに来年からは、穴あけ事業と、間伐再利用

は別に行ってくださいというふうに申し送りしたほうがすっきりするんじゃないかな。その活動資金を稼ぐには幾らでもやってください。でも、市に助成金を依頼するのはそれやめてくださいというふうな形にするのかどうか。

委員長:では、条件つきということでの採択かどうかということで取らせていただく。

委員:わかりやすくすると、発電機はリースにしてくださいと。それと、収入支出は両方計上してもらおう。また、ワークショップは汗をかく事業じゃなくてイベント化しているという感じを受け違和感を覚えた。事務局から前に、1%は材料費プラス汗と説明があったが、私はそれにプラス知恵だと。その知恵が「金をどうやったら取れるか」ということだけになってきている。ただ6月1日からもう動き出すという計画なので、今回はもう備品購入をリースでお願いして、収支もしっかり計上する。言いたいことは、汗をかくことが1%の趣旨なので、その趣旨をメインに、竹林整備事業をする。うちの地区もそうだが、ずっとそれが進捗してきている。これ、結構大変な事になると思う。だからそういう事業にもう少し目を光らせて、少しウェイト傾けたらどうか。

委員:本来的に総額主義なので、歳入と歳出全部入れなくちゃいけないので、原理原則としてやっていただきたいというのがある。実績報告があるのでそこで切るということではできと思う。イベントとかの歳入を入れてもらって、補助金額を減額するというふうに正規のやり方があるんじゃないかなと思う。

委員長:今回に関しては発電機をリースにしろもらい、参加費も含めた収支を実績報告書に記載していただくということで、採択するかしないか取らせてもらう。

委員長より採決が諮られ、【採択】と決定した。

協議結果:3次募集【採択 10件】No.115～124

【不採択 0件】

※詳細は別紙のとおり

(2) その他

事務局より報告

・現地視察を計画したいので、見たい事業・団体などがあれば事務局までお願いしたい

4. 閉会